

第4章

計画の推進

第4章 計画の推進

1 計画の推進

本計画は、区内にある多様な活動主体が協働・連携し、推進していくことが重要であることから、区では、あらゆる機会を捉えて計画内容の周知を図ります。

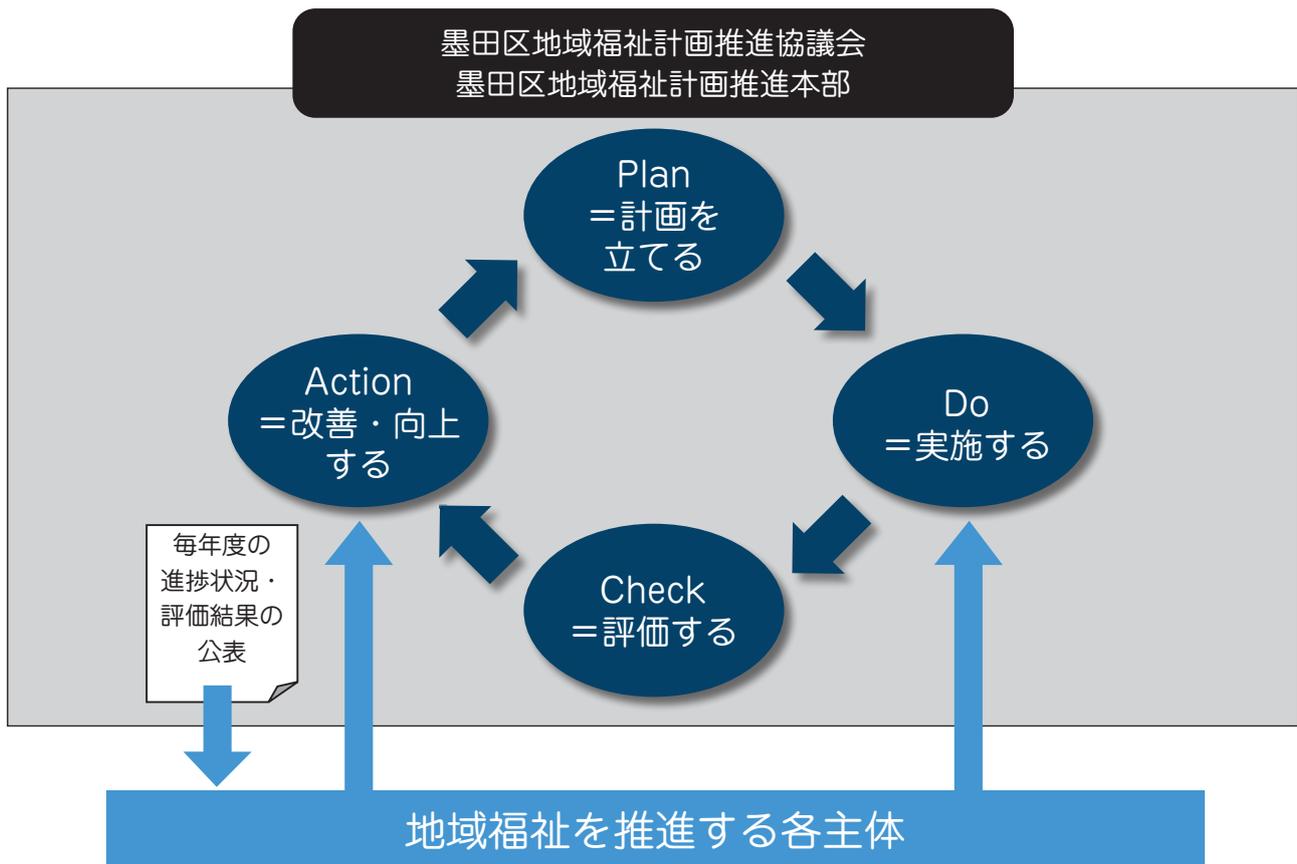
特に、毎年多くの区民・団体が参加する「すみだ地域福祉・ボランティアフォーラム」を継続的に開催し、計画の周知・共有と推進のための意見交換等を行っていきます。

また、本計画で取り組みを紹介した区民・団体をはじめとする、これまで積極的に地域福祉を推進してきた方々にも、地域福祉計画を周知する役割を期待しています。

2 計画の進捗管理

本計画の進捗状況は、墨田区地域福祉計画推進協議会と墨田区地域福祉計画推進本部（いずれも事務局は、墨田区福祉保健部厚生課）において毎年度把握し、評価を行います。

進捗状況及び評価結果は、区ウェブサイト公表するものとします。地域福祉を推進する各主体は、評価結果を参考にしてそれぞれの翌年度の事業や活動に反映させていくものとします。



3 評価指標

計画の推進状況を把握し客観的に評価するため、取り組みの方向性ごとに以下のとおり指標を設定します。

基本目標	取組の方向性	種別	指標	現状値	目標
包括的に支援するしくみを強化する	1 包括的支援体制を構築する	成果指標	「必要な福祉サービスが適切に提供されている」と思う区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	67.3%	70.0%
		活動指標	地域福祉プラットフォームの設置数	3カ所	7カ所
	2 地域活動を推進する環境を整備する	成果指標	「自分にとって必要な区の情報が入手できている」区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	53.3%	70.0%
		活動指標	「現在ボランティア活動・地域活動をしている」区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	10.0%	25.0%
	3 地域で支えあい・助けあうしくみを確立する	成果指標	「高齢になっても墨田区内で暮らし続けることができる」と思う区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	71.2%	80.0%
		活動指標	「地域の交流や様々な活動をする場や機会が提供されている」と思う区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	56.4%	80.0%
	4 地域で安心して暮らし続けるための支援をする	成果指標	小地域福祉活動・ふれあいサロン等実践地区数 ●所管課データ	54地区	64地区
			町会・自治会加入世帯数 ●所管課データ	100,396世帯	100,500世帯
			「必要な福祉サービスが適切に提供されている」と思う区民の割合(再掲) ●基本計画区民アンケートから	67.3%	70.0%
		活動指標	「地域の中で子どもたちが健やかに成長している」と思う区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	75.1%	78.0%
			「地域で子どもの健全育成活動に参加している」区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	9.2%	20.0%
			市民後見人養成研修修了者数累計 ●所管課データ	116人	196人
区民が安心して暮らせる福祉のまちをつくる	1 災害時の支えあい・助けあいを推進する	成果指標	「家庭で災害時の備えができていない」と回答した人の割合 ●基本計画区民アンケートから	54.9%	70.0%
		活動指標	「いざという時に助けてくれる人がいる」と回答した人の割合 (「第5期墨田区障害者行動計画」「第6期墨田区障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」策定のためのアンケート調査より)	78.8%	80.0%
	2 誰もが心を通わす暮らしやすいまちをつくる	成果指標	住民防災組織等を担う防災関係団体人数 ●所管課データ	7,274人	8,500人
		活動指標	「日常生活で差別があると思う」区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	42.2%	35.0%
	3 誰もが自由に行動し、社会参加しやすいまちをつくる	成果指標	「配慮を受けられずにこまることはない」と回答した人の割合 (「第5期墨田区障害者行動計画」「第6期墨田区障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」策定のためのアンケート調査より)	49.1%	55.0%
			認知症サポーターの数 ●所管課データ	23,407人	27,000人
		活動指標	「自分にとって必要な区の情報が入手できている」区民の割合 ●基本計画区民アンケートから	53.3%	70.0%
			道路バリアフリー整備延長	12,567m	14,630m
			「あんしんバリアフリーマップ」のアクセス数	117,274件	120,000件

※「●基本計画区民アンケート」及び「●所管課データ」の目標値は基本計画に掲載されている値。

現状値は令和2年度の実績。目標値は令和7年度の目標値。

※その他は、現状値は令和2年度の実績。目標値は令和8年度の目標値

4 本計画の達成状況の評価と次期計画への反映

本計画の計画期間は令和8年度までであることから、以下のとおり本計画の評価を行い、令和9年度以降の次期計画（第5次墨田区地域福祉計画）への反映を行うこととします。

- ・本計画の4年目（令和7年度）：計画の達成見込み状況を調査し、評価します。
- ・本計画の5年目（令和8年度）：評価を反映して次期計画を策定します。
- ・次期計画の1年目（令和9年度）：本計画の達成状況の評価し、次期計画の推進に活かします。